

テント泊



活動内容	「玄海の家」のキャンプ場にテントを設営し、野外で過ごす体験活動です。どのようにすれば快適に過ごせるかななどを考えさせ、研修生の生きる力を養うことができます。野外炊飯やキャンプファイヤーなどの活動と組み合わせると充実した活動になります。
------	---

対象	時間	活動人数	活動形態			
制限なし	テント設営: 1. 5時間 テント撤収: 1. 5時間	80名 4名 × 20G	グループ(2~4名程度)			
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性	◎	創意工夫	○
ふれあい広場(第2キャンプ場) 第1,2キャンプ場	巡視・安全管理	通年	主体・計画	○	協調・協働	◎
			粘り強さ	◎	人間関係	◎

活動の流れ	設営	利用団体	「玄海の家」職員
		【打合】	【打合】
		活動の流れ、テントなどの貸出物、指導者のテント番号、代表者の動きの確認	
	活動	【集合】活動場所 ①説明を聞く ②貸出物の個数確認 ③指示に従ってテントを設営	【指導】テント設営の指導 ・テント設営の説明 ・貸出物個数の確認 ・設営場所の選定 ・フライシート・テント干しまで説明(テント撤収)
		展開例 《1日目》テント設営→昼食→活動Ⅰ→夕食(野外炊飯)→活動Ⅱ→就寝 《2日目》起床→干し作業→朝食(野外炊飯)→テント撤収→活動Ⅲ→昼食 ※職員はプログラムに合わせ対応	
撤収	撤収	朝食後にテント撤収を行う	
		【集合】活動場所 ・説明を聞く ・貸出物の個数確認 ・テント撤収、倉庫への返却 【解散】 研修生は引率者の指示に従う	【指導】テント撤収の指導 ・テント撤収の説明 ・貸出物個数の確認

引率者の役割	・松林やキャンプサイトでは火気厳禁(国定公園内) ・用具の貸し出しや返却については、職員の点検を受けて確実に行う ・食材を持ち込んだ場合ゴミは各自で持ち帰るか、宗像市指定のゴミ袋を食堂で購入
活動の留意点	・活動において、原則として本館の利用はできない(悪天候の場合避難場所はプレイホール) ・原則として、つどいには全員参加するが、やむを得ない場合については要相談 ・熱中症等防止のため、帽子を着用し、水分補給をこまめにする
「玄海の家」で準備できるもの	ドーム型テント(4人用 20張)、シュラフ(寒冷時のみ) ロールマット、銀マット、グランドシート、金づち(20本程度)、毛布、シーツ
利用団体で準備するもの	懐中電灯、着替え、軍手、帽子、雨具、救急医薬品、虫よけ対策(必要な方)、ぞうきん シーツクリーニング代250円/人(寝具等持込の場合はなし ※要相談)、 その他生活に必要なと思われるもの